

# 誰も聞いたことがない経済の真実

## 講座6

### 脱洗脳続編

日銀・政府・政治家達の悪辣な手口

目加田 明仁

2017年2月

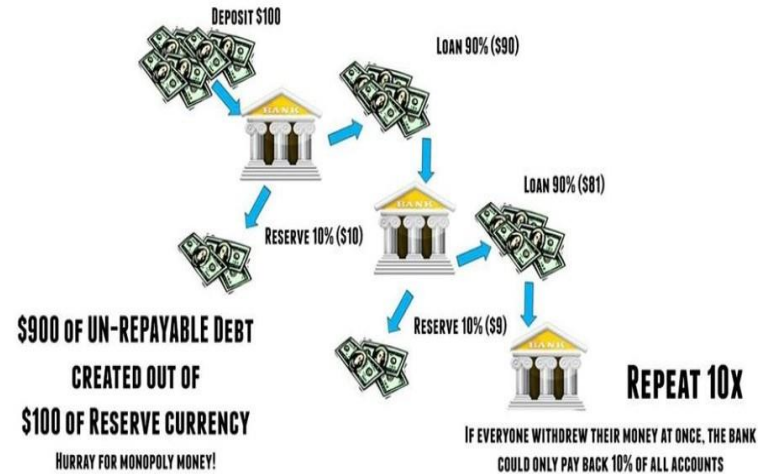
# 脱洗脳講座

## 2 政府・日銀が何とかして呉れると思いませんか？

- 1) 泥棒、詐欺師よりもっとたちが悪いのが政府・日銀(中央銀行)・政治家達です。例えば泥棒、詐欺師なら盗まれた・騙されたと言うのが、普通ならば分るので二回目は先ずあり得ませんが、政府・日銀はやり方が巧妙なので殆どの人に気付かれず、延々と続きます。又は、気が付いたとしても手遅れになると言うことです。
- 2) 先のインフレを起こす手口が主ですが、それ以外の手口が色々あるのを知ること重要です。尚、政府・中央銀行(日本の場合は日銀)は最後は必ず、国民を騙すことを認識することも重要です。過去の長い歴史が証明しています。

# 政府・日銀・政治家達の悪辣な色々な手口

## その1：部分準備制度



- 1) 銀行預金(例：100万円)に対し準備率が10%の場合、1,000万円のお金を貸出すことが出来ます。現在、日本の銀行の準備率は0.1%前後です。例えば100万円を預けると1億円迄は貸出可能です。銀行取付が起こった場合、0.1%の準備率だと1,000円しか戻りません。
- 2) これって詐欺?無論、詐欺ですが、法律で定めているので銀行は罪に問われません。⇒次ページ参照。
- 3) ギリシア、キプロスの例を見るまでもなく没収対象になります。

## その2：お札を過剰に印刷

流通するお金の量が**多すぎる**



お札を過剰にすることでインフレを起こし政府の借金を返し易くする。物価が上がり(購買力が下がる)民間は窮乏。

## その3：金利の操作

金利を不当に下げることによって、皆がお金を使い易くしバブルを起こします。その後、金利引締により、借金を返済できない人の資産没収等により富が金持ちに移動します。

## その4：口先介入

金利を上げる・下げる、金融緩和を行うポーズを取るが実際は行わないこと。

## その5：ヘリコプターマネー

国民が不安を感じお金を使わない場合、日銀がお札を印刷、政府がお金を使いインフレを起こす。政治家はお金を使う達人ですね!

## その6～?

マイナス金利。デジタルマネーへの移行、超大手銀行へ移行により財産管理・没収を容易にする等々。

**日銀って本当に必要?**